

ハンガー・フリー・ワールドの第20回「書損じハガキ回収キャンペーン」にご協力ありがとうございました

1月～5月末で実施し、4,549名の組合員さんから協力があり、換金額は783万2,789円でした。寄付は、飢餓に直面する国々で現地の人々が自らの手で栄養ある食べ物を持続して得られるよう、母子の健康を守るための栄養改善、収入創出、農業推進などの事業に活用されます。

- 全国で取り組まれて、1億4,759万9,961円を超える換金額になりました。今後とも、キャンペーンにご協力くださいますようお願いいたします



先輩お母さんが調理のデモンストレーションを行なっているようす

新型コロナに負けないで活動しています！

西アフリカのベナンで、3歳未満の栄養不良児に地元でとれる食材を使った栄養満点のおかゆを週3日、朝に提供しています。対象児の母親自身が子どもの栄養や衛生状態を改善できるよう研修もしています。父親にも家計を食費に割くことの理解を促したり、栄養ある作物の栽培技術を伝えたりしてきました。

各家庭で栄養豊富な食材を食べられるようになってきましたが、コロナ禍で収入が減り、また日常食であるトウモロコシ、大豆、食用油などが1.5倍以上の値

段になり、家計はかつてなく苦しい状況になっています。しかし、ハンガー・フリー・ワールド(HFW)は、小グループごとの研修の実施、会場に入る前の手洗い、マスク着用の徹底などをして活動を続けています。

「感染症が拡大し始めた頃、お母さんたちは、西洋人しか感染しないと思い込んでいました。しかし、辛抱強く感染症対策の必要性を伝えたことで、予防に取り組んでくれるようになりました」と、村の住民で事業に協力している先輩お母さんのガンデさんから報告がありました。

ホームページからのお知らせ

産地の“今”を動画でお届け「産地からのビデオレター」

コロナ禍のなか、組合員さんと産地の交流はオンラインで実施しています。産直産地からのメッセージや、今年度で開催した「オンライン交流会」のようすもご覧いただけますよ！



「さくら卵」の産地、北坂養鶏場からのメッセージ

紀ノ川農協さんとのオンライン交流会のようす



(2021年6月26日開催分)

パルコープ ビデオレター



詳しくは右記からホームページに入ってね→→→



プラスチックごみを考える学習会 ～事業者の取り組み～

主催：大阪府生活協同組合連合会・全大阪消費者団体連絡会・地球環境市民会議(CASA) 7月2日 ウェブ参加 14名



メイン会場のエル・おおさかとオンラインでつなぎお話を聞きました



第5回となった全大阪消費者団体連絡会(消団連)などが呼びかけている、プラスチックごみを考える学習会。パルコープからも活動委員さんがオンラインで参加し、環境問題に取り組んでいる3社の事例をお聞きしました。

味の素株式会社サステナビリティ推進部環境グループ長の豊崎さんからは、プラスチック廃棄物のゼロ化に向けて、プラスチックの使用を製品の安全性や品質に必要な最小限の使用と使用量を守ることなどを定めていると紹介。メーカーの責任として、製品の容器包装のコンパクト化・薄型化や、植物由来原料(紙・バイオマス素材)への転換をしています。最近では、使用した容器を回収・洗浄・再利用する「LOOP(ループ)」*の取り組みにも参加、さらに海外でも事業展開するメーカーとして、各国・地域の実情に合わせたリサイクルの貢献も重要視されています。

イオン株式会社の環境・社会貢献部の鈴木さんは、世界で約2万店舗あるイオングループで事業そのものが環境のためになることを目指していると言います。レジ袋無料配布は2007年から廃止、繰り返し使

える買い物かご「マイバスケット」も約76万個利用されています。PB商品の容器包装の小型化・紙化・バイオプラスチック使用や再生プラスチックを進め、回収した飲料用ペットボトルを100%再生または植物由来素材に転換する「ボトルtoボトルプロジェクト」や、販売店としての「LOOP」の取り組みを紹介。イオンで働く新入社員への意識を高めるための教育も力を入れています。

日本生協連のサステナビリティ戦略担当・設楽さんからは、1960年代から全国の生協で環境配慮の取り組みを進めてきた歴史を紹介。現在は「2030環境・サステナビリティ政策」の目標のもと、プラスチックの分野では、CO・OP商品の容器包装プラスチックの削減とともに、再生プラスチック・植物由来プラスチックを容器包装材に使用する商品を展開(2020年時点・293品)。その他に、洗剤などの大型紙容器での詰め替え製品などもCO・OP商品の特長だと言います。

改めて、製品を作る・売る・使うというそれぞれの立場で考えさせられた学習会となりました。

CO・OPラベルのない水(あずみ野) 2L×6



CO・OPラベルのない水(あずみ野) 2L×6

※LOOP...使い捨て容器包装を使わず、再利用可能な容器を商品に使用する世界的な取り組み。使った容器は回収され、洗浄したのち、再度充填されて商品になる。現在約20社のメーカーが参加。

チャレンジしよう！ チャレンジは3日間！ 「家庭の容器包装プラごみ・使い捨てプラごみ調べ」

- ①「記入票」「提出用紙」をダウンロードし、調べる期間を決める
- ②記入票に書き込む
- ③提出用紙に記入し回答する

- ・調べ終わったら、提出用紙にごみの合計数や感想などを記入し、それをもとに回答用専用フォーム(下記参照)から入力するか、もしくは提出用紙にて回答したものを返信。
- ・回答いただいた内容は、個人が特定されない形で集約し、機関紙「ぱるタイム」および、大阪消団連webサイトで結果を発表します。

【申し込み締め切り】 10月29日(金) 【提出締め切り】 11月26日(金)

【応募方法】 右の二次元コードから「記入票」「提出用紙」をダウンロードしてください。「記入票」「提出用紙」の郵送を希望される方はお電話でご連絡ください(提出時の返信用封筒も同封いたします)。

組合員サービスセンター ☎0120-299-070 FAX 0120-299-230

携帯・PHSからは ☎072-856-7671(有料)(月・土 9:00～17:00 火～金 9:00～18:00)

主催：大阪府生活協同組合連合会・全大阪消費者団体連絡会・地球環境市民会議(CASA)

